

伝統野菜とは…

その土地で古くから作られてきた野菜で、毎年種取りを100年以上前から、その地域で行っているものに限り、採種を繰り返していく中で気候風土にあった野菜として確立されてきたものです。



伝統野菜山内かぶらとは…

若狭町 山内集落に伝わるかぶらで、朝霧深い山内でしか収穫出来ません。表面にエクボがありひげ根が多く葉はしっかりしており、煮崩れしにくく風味が良いのが特徴です。販売の時には可愛いかぶらのタグがついています。

収穫時期：11月～2月頃まで

収穫場所：山内集落



山内かぶらちゃんの会とは…

江戸時代頃から種取りを続け先代から嫁へと代々かぶらを守ってきました。飛永悦子氏が村おこしにつなげようと区民に呼びかけて『山内かぶらちゃんの会』を設立し、平成23年11月に、生産・出荷を展開したものです。会は、山内集落の住民で構成されており、現在12人で活動し、若狭町のPRにも頑張っています。また平成28年9月7日、国より地理的表示保護制度（GI）に登録されました。

山内かぶらの唄



作曲 北陸農政局 川口 健史

作詞 北陸農政局 川口 健史

山内かぶらちゃんの会

一 あさぎり ふ か やまうち つち
朝霧深い山内は 土のやさしさ どこまでも

いだ はぐく たねひとつ つた ごと
抱かれて 育まれ 種一粒の 伝え事



二 わかさ くに かぜはる ひと
若狭の国の風遥か 人のやさしさ どこまでも

いだ はぐく かお く つた ごと
抱かれて 育まれ 香る暮らしの 伝え事

三 やまうち むかし か てしお こま
山内かぶら昔から 変わらぬ手塩も 細やかに

いだ はぐく か かわらぬ あじ つた ごと
抱かれて 育まれ 変わらぬ味の 伝え事

いだ はぐく たねひとつ つた ごと
抱かれて 育まれ 種一粒の 伝え事



山内かぶらちゃんの会

(代) 0770-64-1497